

分野：②

(校庭にツミやオオムラサキの棲む学校ビオトープを創ろう)

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立西富小学校 3年(65人)

所要時間



1時間20分

場所 所沢市立西富小学校

実施時期

令和2年11月27日

## 概要

校庭の一角に地域の野生の生きものが棲める学校ビオトープを創る  
 ビオトープの目標種はツミとオオムラサキ  
 水辺と林と草地を創る  
 できるだけ子ども達の手で、創るだけでなく継続性をもつ

## プログラムの ねらい

全校児童が参加して地域の自然を守り育てる。  
 6年生、5年生、4年生が掘った池のビオトープと森と林のビオトープの周りに  
 杭を打ちロープを通す。ビオトープに棲む生きものを考えながら進める。

## プログラムの内容

### 1 なぜビオトープを創るのか(5分) 1クラス40分授業を2クラス

杭を打つカケヤの道具の使い方、友達に怪我をさせないようにする。  
 完成予想図をホワイトボードで示す

### 2 3ヶ所のビオトープの周りに杭を打つ。(30分)

杭を打つ場所の長さを巻き尺で測り、杭の間隔に印をつける。

仮に使っていた竹杭を取り除く。

カケヤの注意するところを再度説明する。

カケヤを打つ人と杭を支える人の息を合わせる。

友達に怪我をさせないようにお互いの間隔を取る。

杭を打ち込んだ後にロープを通す。



### 3 活動を振り返る(5分)

作業前と後の様子を観察する。

全員で集合写真

## 受講者の反応

カケヤは使ったことがなかったので、初めは怖かったのですが、教えていただいたように使うと上手に打てたので嬉しかった。長い距離を巻き尺で測るのが大変だったけれど、楽しかった。杭を打つときに硬い土と柔らかい土があるのが分かった。友達と協力して上手に打てた。カケヤの使い方はお餅つきの杵と似ていたので少し楽だった。ビオトープの周りに杭を打ちロープを通したので、皆で大切に使うことができそうで良かった。